

(人文・社会科学専攻)

(注意) 解答はすべて別紙解答用紙の定められた欄または枠内に記入せよ。正しく記入していない場合には採点されない  
ので注意せよ。

1 次の文章を読んで下の問に答えよ。

- ① 大陸の地形や地殻構造は、造山運動によって形成されたものであり、造山運動の時期によりその特徴が異なる。( 1 )  
時代に造山運動を受け、その後大きな地殻変動のなかった地域が安定陸塊である。安定陸塊のうち、岩石が地表にあらわれ  
ている地域を楯状地、岩石の上にほぼ水平な地層が堆積している地域を( 2 )という。楯状地には、アメリカのメサビ  
( 3 )山など、大規模な( 3 )山が多く分布している。古生代に造山運動を受けた地域を( 4 )造山帯という。この  
地域は長い期間の侵食により低くならかな山地になったり、新しい地層におおわれて平野になったりしている。中生代後  
期以降、現在まで造山運動が続いている地域は( 5 )造山帯とよばれ、大山脈や列島を形成している。( 5 )造山帯は、  
マグマの活動が活発であり、銅、銀、すず、亜鉛などの非鉄金属をはじめとする地下資源に恵まれている。石油も、( 5 )  
造山帯やその周辺の地層から産出する場合が多い。
- ② 地球の表面は、厚さ100km程度の、十数枚のプレートとよばれる岩石の層でおおわれている。それぞれのプレートは、その  
下にある( 6 )とよばれる流動しやすい岩石の層の上を、ゆっくりとすべり動いている。現在、世界の大地形のなりたち  
は、プレートの動きにより説明される。プレートの境界では、プレートが互いに押し合ったり、離れたりして、激しい地殻  
変動が生じる。2つのプレートがせばまる境界には、アルプス山脈と( 7 )山脈のように大陸プレートどうしが衝突して  
いる境界や、日本( 8 )のように海洋プレートが大陸プレートの下にもぐりこんでいる境界がある。2つのプレートが互  
いに遠ざかっている、広がる境界では、太平洋や大西洋の( 9 )とよばれる海底の大山脈や大地溝帯が形成される。  
( 9 )では、地球内部から( 6 )がわき上がり、海底を左右に押し広げている。2つのプレートの境界が水平にずれ動  
いている境界を、ずれる境界とよび、サンアンドレアス断層のような横ずれ断層が形成される。このように、プレート境界  
付近では地震や火山活動が活発になり、大山脈や( 8 )が形成される。一方、プレートの中央部は、激しい地殻変動が生  
じない安定帯であり、大平原、大平野や大洋底が広がる。
- ③ 2008年5月12日に中国の( 10 )省で大地震が発生し、死者約7万人、負傷者約37万人に達する大惨事になった。この地  
震のマグニチュードは8.0と推定され、観測された揺れの強さを表す加速度は、阪神淡路大震災を上回っていたとされる。日  
本でも震度6程度の地震はしばしば観測されている。現在、1923年の( 11 )大震災以来となる首都圏の地震や東海・東南  
海地震に対する研究、対策が講じられている。人工衛星を用いた全地球( 12 )システムによる地殻変動の精密な観測は、  
地震や火山活動の把握や予測のためのデータとしても使われている。複雑な海岸線を有する日本の沿岸域は津波の被害を受  
けやすく、警報システムの確立や避難訓練が重要である。地震による液状化現象も直面した課題である。また、火災の発生  
や避難場所の確保など、地震による2次的な被害の軽減も検討する必要がある。

問1 文章中の( 1 )～( 12 )の中にもっとも適当な語句を入れよ。

問2 文章①について、下の a～e に答えよ。

- a. 下線部(あ)について、南半球の楕状地は何とよばれているか。
- b. 古生代に形成された山脈は次のうちどれか、下からすべて選び記号で答えよ。  
ア. アルプス山脈    イ. ヒマラヤ山脈    ウ. ウラル山脈    エ. アンデス山脈    オ. ロッキー山脈  
カ. テンシャン(天山)山脈    キ. アパラチア山脈
- c. 下線部(い)について、この地層には大炭田がみられるが、その理由を30字以内で述べよ。
- d. 下線部(う)について、この造山帯は世界で大きく2つに分かれて分布している。それぞれの名称を答えよ。
- e. 下線部(え)について、石油が産出される地質構造の特徴を30字以内で述べよ。

問3 文章②について、下の a～g に答えよ。

- a. 下線部(お)について、プレートの動く速度はおよそどのくらいか、次のうち最も適当なものを記号で答えよ。  
ア. 1年で1cm    イ. 10年で1cm    ウ. 100年で1cm    エ. 1000年で1cm
- b. 下線部(か)について、この理論は何とよばれているか。
- c. 下線部(か)について、この理論により、1912年に唱えられた大陸移動説が再評価された。大陸移動説を提唱したのはだれか。
- d. 下線部(き)について、この領域に存在するプレート名を下の語群からすべて選び記号で答えよ。
- e. 下線部(く)について、この領域に存在するプレート名を下の語群からすべて選び記号で答えよ。
- f. 下線部(け)について、日本列島は大地溝帯(フォッサマグナ)によって東北日本と西南日本に分けられる。この地溝帯の西縁は何とよばれているか。
- g. 下線部(こ)について、この領域に存在するプレート名を下の語群からすべて選び記号で答えよ。

語群：ア. インド・オーストラリアプレート    イ. ナスカプレート    ウ. 南極プレート  
エ. ユーラシアプレート    オ. アフリカプレート    カ. 太平洋プレート    キ. フィリピン海プレート  
ク. 北アメリカプレート

問4 文章③について、下の a～e に答えよ。

- a. 下線部(さ)について、マグニチュードは地震の何を表す量か。
- b. 下線部(し)について、2004年以降に発生した次の地震を発生順に記号で答えよ。  
ア. 能登半島地震    イ. 新潟県中越地震    ウ. 岩手・宮城内陸地震    エ. 新潟県中越沖地震
- c. 下線部(ず)について、このシステムは英語の頭文字3文字で何とよばれているか。
- d. 下線部(せ)について、津波の発生するメカニズムを60字以内で説明せよ。
- e. 下線部(そ)について、どのような現象か30字以内で述べよ。

2

次の文章を読んで下の問に答えよ。

工業は、農林水産業や鉱業で生産された1次産品を原材料とし、それを( 1 )して、有用なものを製造する産業である。その内容は多様で、製品の種類にもとづいて細かく分類されるほか、製品の用途や性格、工業の立地などによっても分類できる。工業の立地条件には、地形などの自然条件と交通や情報などの社会条件がある。立地による分類には、たとえば鉄鋼業のような( 2 )指向の立地、食品や出版関係のような( 3 )指向の立地、ほかに衣服工業や知識集約型の電子工業のような( 4 )指向の立地などがある。

工業生産の多くは世界の中でも一部の国々に集中しており、また、それらの国々の国内でも、工業がさかんな地域に限られ<sup>(a)</sup>ている場合が多い。工業は機械工業のように、生産のために多くの部品や原材料を必要とする場合、相互に関連する工場が特定の場所に集まって工業地域を形成する傾向がある。集まることで技術の提携や施設の共同利用、情報の交換などコストを削減して生産性を上げる。こうした( 5 )を求めて工場が立地し、より複合的になっていく。その一方で大都市の工業地域では、賃金や地価が上昇し、交通条件が悪化すると、工場はよい立地条件を求めてより広い範囲に( 6 )する。また国の立地政策などでは地方( 6 )もはかられる。輸出拡大によりもたらされる輸出相手国との貿易( 7 )が強くなると、企業は輸出先の国に工場を移して現地生産を行うようになり、このようにして工業生産のグローバル化が進んでいく。

世界の工業を理解するためには、工業の分布の変化とその背景について考察する必要がある。工業生産が特定の地域に集中するようになったのは、( 8 )以降のことである。18世紀末にイギリスで始まった( 8 )はその後、ほかのヨーロッパ諸国やアメリカなど先進地域へ波及し、19世紀末には日本でも進行した。蒸気機関などが発明され、生産形態は( 9 )工業に移行した。19世紀から20世紀の初めにかけては、製鉄業や金属工業などの重工業が、原料となる鉱石の産地やエネルギー源になる石炭の産地などに立地した。これらの地域では、工場と労働者住宅が隣りなり、鉄道や運河などの整備も進んでいたため、広い範囲にわたって人口密度の高い都市的な地域が形成された。しかし第2次世界大戦後、アメリカ、日本、積極的な工業化政策により輸出を増大させた( 10 )などの経済発展により、ヨーロッパの伝統的工業地域の地位は相対的に低下した。1950年代以降、主要なエネルギー資源が石油に転換するにつれて、工業の立地状況には大きな変化がみられた。また、炭田地帯の重化学工業地域では変容をせまられ、問題も抱えている。<sup>(b)</sup>

現在、ヨーロッパ諸国では新しい工業地域が生まれ、その形から( 11 )と命名された地域が成長軸として注目されている。<sup>(c)</sup>スペインのカタルーニャ地方から南フランスにかけての地中海沿岸地域は、技術集約型産業や研究機関の集積が進み、ヨーロッパの( 12 )とよばれている。イタリアでは、トリノやボローニャを中心とする地域が( 13 )として注目されている。

EU統合が進むにつれて、工業生産の面でも国境をこえた結びつきが強まった。2004年の第5次拡大でEUに加盟した( 14 )は、安価な労働力と豊富な鉱産資源をもとに繊維、機械工業や伝統的なガラス工業などが盛んな国である。また2007年にEUに加盟した( 15 )と( 16 )は農業国であったが、工業化が進んでいる。これらの国々には、西ヨーロッパの企業の生産・部品供給拠点の立地などが進んでいる。工業の発達はその国のGDPや人口密度の高さに関係し、EU加盟国内で工業化の進んだ地域とそうでない地域の格差が問題となっている。

問1 文章中の( 1 )～( 16 )の中にもっとも適切な語句を入れよ。

問2 下線部(a)について、下の文の( a )～( c )にもっとも適切な語句を入れよ。

1990年代以降、世界の工業生産の拠点には、EU、アメリカ、日本をそれぞれ中心に、ヨーロッパ、NAFTA諸国、東・東南アジアの地域からなる( a )構造がみられる。改革開放路線のもとで輸出指向型の工業化がはかられた( b )は世界の工場といわれ、工業発展が加速している( b )、ブラジル、ロシア、インドの4か国については、( c )とよばれている。

問3 下線部(イ)について、下の①～③の説明文にあてはまる伝統的な工業地域名を答え、その位置を下の図のA～Hから選び記号で答えよ。

- ① 製鉄所の黒煙でおおわれていたことからブラックカントリーとよばれたペニン山脈の南部に位置する重工業地域。
- ② ライン川の水運と炭田を背景に鉄鋼、機械、化学などの工業が発達した地域。
- ③ ドネツ炭田、クリボイログの鉄鉱石を背景に発達した重化学工業地域。ドネツ工業地域ともいう。

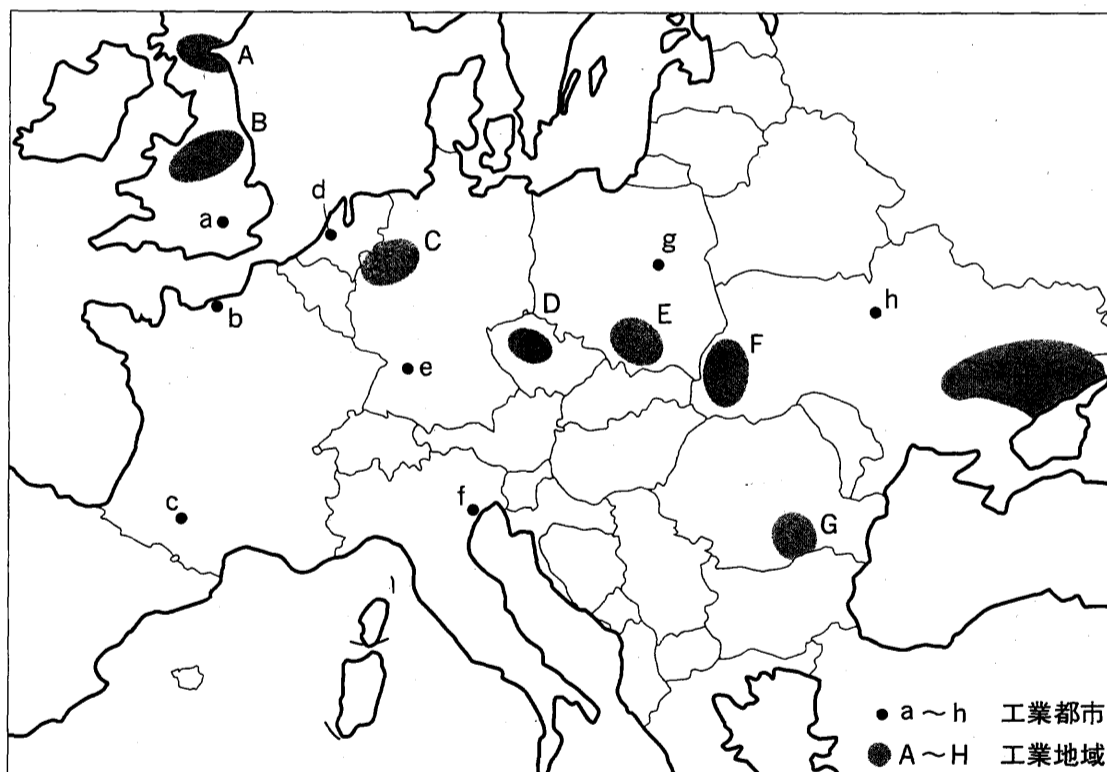
問4 下線部(ロ)について、ヨーロッパの中で、1980年代から、2007年まで原油産出量が世界の上位10位以内に入っている国を1つ挙げよ。

問5 下線部(ハ)について、エネルギー資源の石油への転換にとまない、ヨーロッパの工業の立地にどのような変化がみられたか、60字以内で説明せよ。

問6 下線部(ニ)について、ヨーロッパでは現在どのような問題が起きているか120字以内で論ぜよ。

問7 下線部(ホ)について、下の①～③の説明文にあてはまる都市名を答え、その位置を下の図のa～hから選び記号で答えよ。

- ① 自動車などの加工組立型工業が成長し、先端技術産業も盛んなライン川支流のネッカー川沿いにある河港をもつ商工業都市。
- ② この都市の近郊にはユーロポート地区があり、ヨーロッパ最大の港湾となっている。
- ③ 航空機製造の最終組立の地として知られているガロンヌ川中流に位置する商工業都市。



3 次の文章を読んで下の問に答えよ。

アメリカ大陸は New ( 1 ) すなわち新大陸ともよばれる。文化的にはカナダ, アメリカ合衆国からなる ( 2 ) アメリカと中央アメリカおよび南アメリカからなる ( 3 ) アメリカに二分される。アメリカ大陸では 1 万年以上前から各地にさまざまな民族が独自の文化をつくり, 相互の交流をつづけてきた。メキシコにはかつてユカタン半島から中央アメリカにかけて栄えた ( 4 ) 文明があり, またこの文明を受け継ぎ農耕を基盤とした帝国を形成した ( 5 ) 文明があった。

南アメリカ大陸の 47% を占めるブラジルは世界で ( 6 ) 番目に広い国土をもつ国で, 2007 年現在の人口規模は世界で ( 7 ) 番目である。ブラジルの国土は安定陸塊にあり, アマゾン盆地に代表される平野とブラジル高原などの低い高原が広がっている。ブラジルの文化は植民地時代に支配した ( 8 ) 人による文化の影響を強く受けている。公用語は ( 8 ) 語で, 国民の約 7 割は ( 9 ) を信奉している。19 世紀末に, ブラジルの輸出額の約 7 割は ( 10 ) が占め, ブラジルは ( 11 ) 経済の農業国とみられていた。現在でもブラジルは世界有数の ( 10 ) 輸出国であるが, 輸出総額に占める割合は 1 割以下である。現在のブラジルは工業化が進み, 自動車, 鉄鋼をはじめ, 工業製品が輸出総額の 5 割を超えている。ブラジル南東部の ( 12 ), ( 13 ), ペロオリゾンテの三大都市を中心にして重化学工業の発達が著しい。地下資源にも恵まれており, イタビラなどのミナスジェライス州の鉱山に加えてカラジャス鉱山の開発で, 世界有数の ( 14 ) の産出国となった。

ペルーは南アメリカ大陸西部に位置し, 太平洋に面している。ペルーの面積は約 130 万 km<sup>2</sup> で, これは南アメリカの国々の中で ( 15 ) 番目の広さである。常用語としてはスペイン語のほかに ( 16 ) 語と ( 17 ) 語が用いられている。ペルーの就業人口の 4 割近くを占めているのは農業であるが, 国内総生産に占める割合は低い。 ( 18 ) 山脈の西側の山岳地域ではじゃがいも栽培など伝統的な農業生産が, ( 19 ) 差を利用した階段状の耕地で行われており多様な農業地域を形成している。輸出を支えているのは ( 20 ) 業と ( 21 ) 業である。

問 1 文章中の ( 1 ) ~ ( 21 ) の中にもっとも適当な語句や数字を入れよ。

問 2 ブラジルにおける住民構成の特徴について 90 字以内で述べよ。

問 3 ブラジルにおける気候分布の特徴について 60 字以内で述べよ。

問 4 日系移民と中央アメリカ・南アメリカの国々との関係について 100 字以内で述べよ。

問 5 南アメリカの国のうち次の条件を満たす国名を記せ。

- a. ブラジル, ペルー両国に国境を接する国を 2 つ挙げよ。
- b. ブラジルと国境を接し, ペルーとは国境をもたない国を 2 つ挙げよ。
- c. ペルーと国境を接し, ブラジルとは国境をもたない国を 2 つ挙げよ。
- d. 赤道がその国土を横切る国を 1 つ挙げよ。